

平成25年度 景気動向調査

●調査目的

留萌地域においては依然として商業・サービス業・建設業・水産加工業など多くの業種において業況が悪化し、地域経済に深刻な影響を及ぼし、更に東日本大震災の影響が見られるものもあり、この状況が長期化、深刻化することが懸念されており、留萌市からの委託を受けたこの「景気動向調査」を実施することにより、今後の地域経済活性化事業に関する検討資料とすることを目的とする。

●調査実施期間

平成25年7月24日～8月7日

●調査方法

設問は留萌市が作成し、留萌商工会議所が会員事業所688事業所へ調査票を郵送し、回答はFAXで返信していただくか、又は会議所へ届けていただいた。

配布枚数 688枚 回答数 144枚 回収率 20.9%

調査結果概要

会員事業所のご協力により予想回収率(20%程度)を上回ることが出来たことを先ずもって感謝したい。

調査結果としては、調査目的にある「依然として商業・サービス業・建設業・水産加工業など多くの業種において業況が悪化し」との予測が若干のバラつきは有るもののアンケートを通して確認されたと言え、昨年とほぼ同様な結果であった。問2の道内全体の景況感については、悪いが27.3%、大変悪いが6.3%で合計33.6%となっている。変わらないが54.5%であったが前年も厳しい状況であったことを考えると、悪い状態が変わらないと言え、それも合わせると88.1%が悪いと言っていることになる。また、設問は道内と謳っているが回答した事業所が留萌市内の企業であることから留萌市内の景況感が悪いとも言える。ただ、変わらないが昨年38.6%であったので、悪いながらも幾分底打ち感が出つつあるようにも見える。業績動向での悪い要因としては「個人消費の減少」「先行き不透明感」「官公庁の発注減」が上位を占めている。景気の回復時期についても「不明」が86.3%とまだまだ回復の道筋が見えない。資金繰りについても「やや厳しい」と「厳しい」で35.7%を占め、「売上げの減少」が主な要因となっている。先行き(2~3ヶ月先)における懸念材料としては、「景気対策の動向」「個人消費の動向」「公共投資の動向」「税制の動向」が上位にあり、景気低迷の中での消費税増税は中小・零細企業にとっては死活問題と言える。

以上のことから留萌市の経済にとっては、需要の拡大のため、公共事業の発注を増加することにより建設業等が元気を取り戻し、小売業やサービス業等にお金が廻り、消費者の購買力が高まるような施策が必要と思われ、アベノミクス効果が期待される所だ。また、バイ留萌運動のようなお金が市内を循環する仕組みを今後も考えて行かなければいけない。人口減少も大きな問題で平成25年7月末で23,632人と、去年同期より398人減少しており、簡単な事ではないが企業誘致などで、若者が就職できる雇用機会の拡大も図らなければならぬ。さらに、商業者にとっては、今後ますます進行する高齢者社会に対応すべく、高齢者の需要を取り込んだきめ細かなサービスの提供とコンパクトで高齢者に優しい街づくりが急務と言えよう。

問1 貴社の業種について

① 回答事業所の業種及び回答数

建設業	30枚
製造業	15枚
運輸業	10枚
卸・小売業	44枚
飲食・サービス業	34枚
その他	11枚
合計	144枚

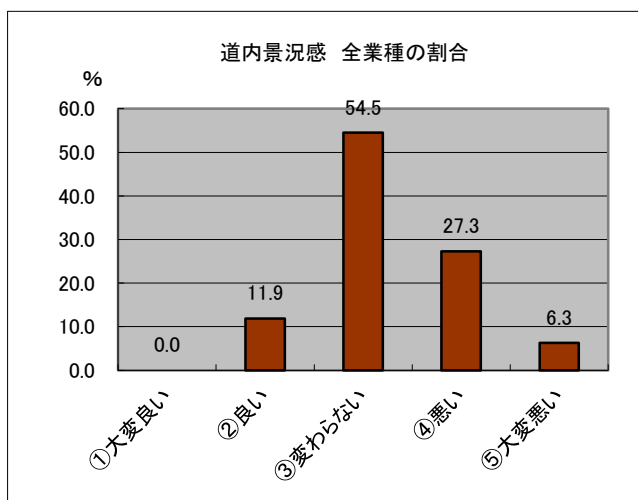
② 貴社の従業員数を教えてください 業種ごとの合計数

	従業員数	内正社員	正社員の割合
建設業	472	305	64.6 %
製造業	228	122	53.5 %
運輸業	248	148	59.7 %
卸・小売業	452	237	52.4 %
飲食・サービス業	574	266	46.3 %
その他	221	200	90.5 %
合計	2195	1278	58.2 %

問2 道内全体の景況感について

1) 前年と比較した道内全体の景況感について伺います。

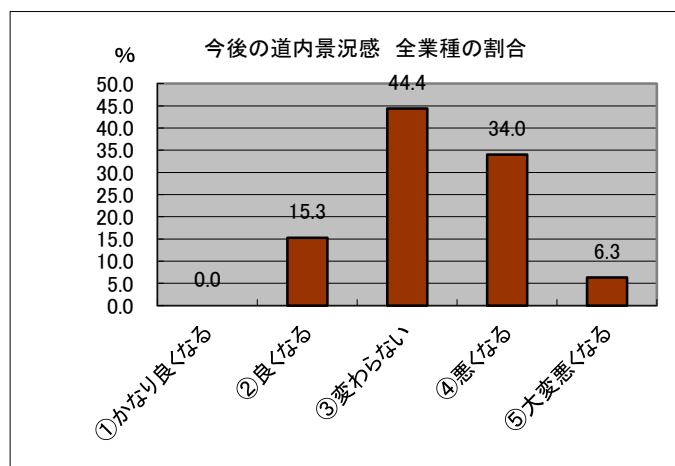
	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①大変良い	0	0	0	0	0	0	0	0.0
②良い	6	2	1	5	2	1	17	11.9
③変わらない	16	8	5	25	16	8	78	54.5
④悪い	7	4	2	10	14	2	39	27.3
⑤大変悪い	1	1	1	4	2	0	9	6.3
							143	100.0



◎前年と比較した道内全体の景況感についての設問であるが回答のあった事業所が留萌市内であることから留萌市の景況感を表しているといえる。左のグラフの全業種で見ると③変わらないが54.5%で一番多く、続いて④悪い27.3%、②良い11.9%、⑤大変悪い6.3%、①大変良い0.0%の順となっている。③の変わらないは前年も厳しい状態であったことを考えると悪い状態が変わらないと言え③変わらない④悪い⑤大変悪いを合わせると88.1%になり留萌市内の経済状況が大変厳しいことが分かる。ただ、変わらないが昨年38.6%であったので、悪いながらも幾分底打ち感が出つつあるようにも見える。

2) 今後の景況感について伺います。

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①かなり良くなる	0	0	0	0	0	0	0	0.0
②良くなる	7	2	2	6	4	1	22	15.3
③変わらない	13	10	5	17	13	6	64	44.4
④悪くなる	7	2	2	18	16	4	49	34.0
⑤大変悪くなる	3	1	1	3	1	0	9	6.3
							144	100.0

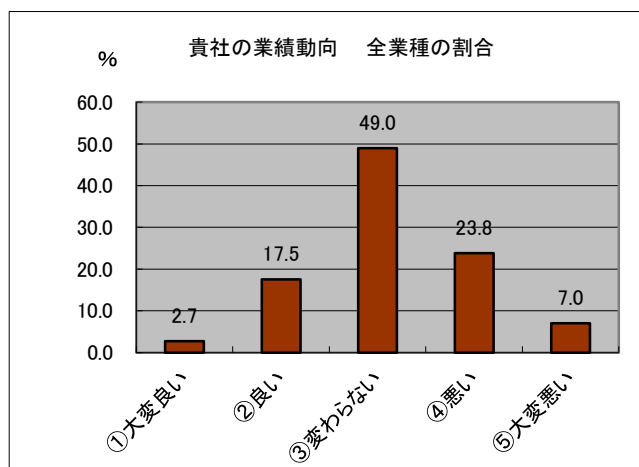


◎左のグラフは今後の道内景況感について尋ねたものだが上記(1)の傾向と同じく③変わらない④悪くなる⑤大変悪くなる合計で84.7%となっているところから、まだまだ厳しい状況が続くとの見方が多い。

問3 貴社の業績動向について

1) 前年と比較した売上げ高(又は販売数量)について伺います。

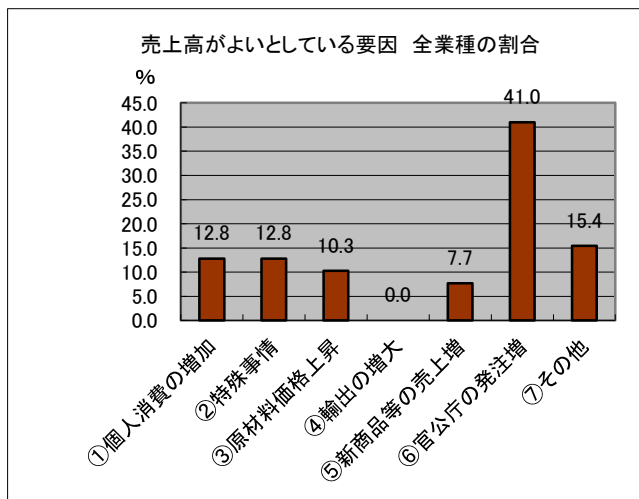
	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①大変良い	3	1	0	0	0	0	4	2.7
②良い	8	2	0	7	6	2	25	17.5
③変わらない	14	8	7	18	16	7	70	49.0
④悪い	5	3	1	14	9	2	34	23.8
⑤大変悪い	0	1	2	4	3	0	10	7.0
							143	100.0



◎前年と比較した売上げ高について尋ねたものだが④悪い23.8%と⑤大変悪い7.0%を合わせると30.8%である。①大変良い2.7%と②良い17.5%を見ても、まだ厳しい状況であることがわかる。

2) 1)で①か②を選択した方に伺います。売上げ高(又は販売数量)が良いとしている要因はどのようなことですか。(複数回答可)

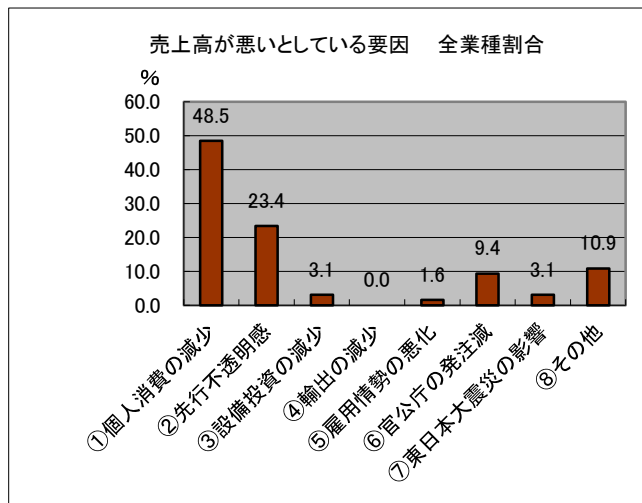
	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①個人消費の増加	1	1	0	1	2	0	5	12.8
②特殊事情	2	1	0	0	1	1	5	12.8
③原材料価格上昇	0	0	0	4	0	0	4	10.3
④輸出の増大	0	0	0	0	0	0	0	0.0
⑤新商品等の売上増	0	0	0	0	2	1	3	7.7
⑥官公庁の発注増	9	1	0	3	2	1	16	41.0
⑦その他	1	0	0	3	2	0	6	15.4
							39	100.0



◎上記1の設問で①大変良い、②良いと回答した事業所で、良いとしている要因は⑥官公庁の発注増41.0%、⑦その他15.4%、①個人消費の増加12.8%、②特殊事情12.8%、③原材料価格上昇10.3%の順になっている。

3) 1)で④か⑤を選択した方に伺います。売上げ高(又は販売数量)が悪いと
している要因はどのようなことですか。(複数回答可)

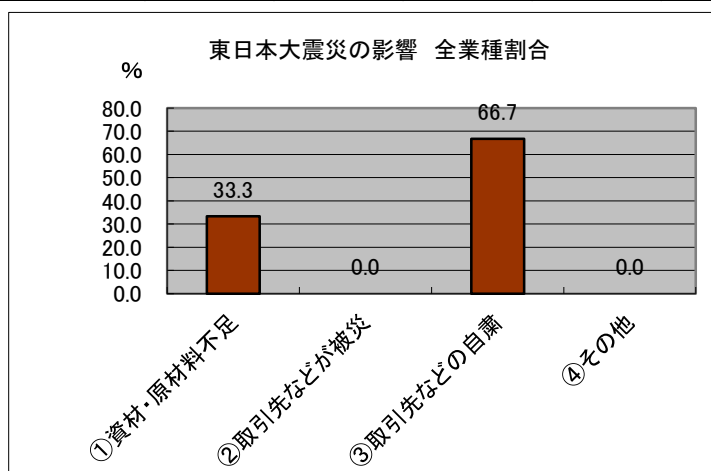
	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①個人消費の減少	1	2	2	15	11	0	31	48.5
②先行不透明感	4	2	1	3	3	2	15	23.4
③設備投資の減少	0	0	0	1	0	1	2	3.1
④輸出の減少	0	0	0	0	0	0	0	0.0
⑤雇用情勢の悪化	0	0	0	0	1	0	1	1.6
⑥官公庁の発注減	0	1	0	4	1	0	6	9.4
⑦東日本大震災の影響	0	1	0	1	0	0	2	3.1
⑧その他	0	0	2	1	3	1	7	10.9



64 100.0
◎1)で④悪い、⑤大変悪いと回答した事業所でその要因としては、全業種で見ると、①個人消費の減少48.5%②先行不透明感23.4%、⑧その他10.9%、⑥官公庁の発注減9.4%の順になっている。

4) 3)で⑦を選択した方に伺います。具体的にどのような影響がありましたか。
該当するものに○をつけてください。

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①資材・原材料不足	0	0	0	1	0	0	1	33.3
②取引先などが被災	0	0	0	0	0	0	0	0.0
③取引先などの自粛	0	0	0	1	1	0	2	66.7
④その他	0	0	0	0	0	0	0	0.0

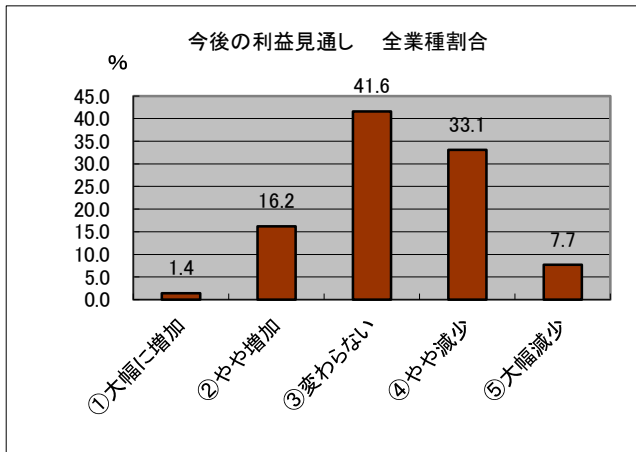


3
◎3)で⑦東日本大震災の影響と回答した事業所では①資材・原材料不足33.3%、③取引先などの自粛が66.7%となっている。

5) 今後の利益見通しについて伺います。

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①大幅に増加	1	0	0	0	0	1	2	1.4
②やや増加	4	3	1	7	7	1	23	16.2
③変わらない	15	8	5	17	9	5	59	41.6
④やや減少	7	3	3	16	15	3	47	33.1
⑤大幅減少	2	1	1	4	2	1	11	7.7

142 100.0

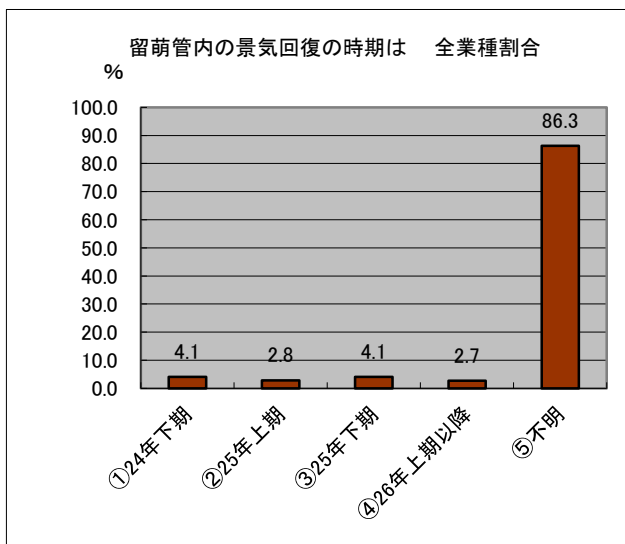


◎今後の利益見通しについての設問だが①大幅に増加と②やや増加で17.6%。④やや減少と⑤大幅減少で40.8%となっており、今後も減収・減益になる事業所が多くなりそうだ。

6) 5)で④か⑤を選択した方に伺います。留萌管内の景気回復の時期はいつ頃だとお考えですか。

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①24年下期	1	0	0	1	1	0	3	4.1
②25年上期	0	0	0	1	1	0	2	2.8
③25年下期	0	1	0	2	0	0	3	4.1
④26年上期以降	0	0	0	0	2	0	2	2.7
⑤不明	13	4	6	18	18	4	63	86.3

73 100.0

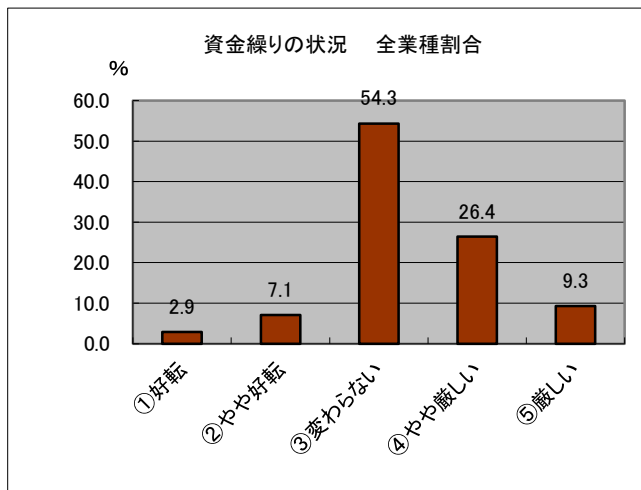


◎5)で、④やや減少⑤大幅減少を選択した方に聞いたもので、景気回復は何時になるか、との設問だが⑤不明が86.3%で、長引く不況がいつ回復するか見通せない状況といえる。

IV 貴社の経営実態について

1) 前年と比較した資金繰りの状況について伺います。

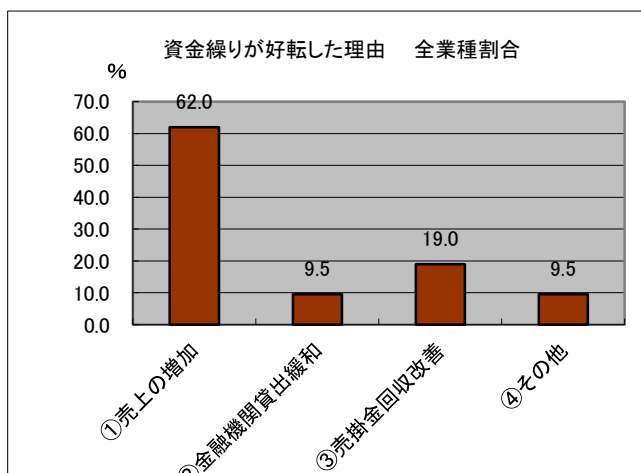
	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①好転	1	1	0	1	0	1	4	2.9
②やや好転	2	3	1	1	3	0	10	7.1
③変わらない	15	9	6	24	15	7	76	54.3
④やや厳しい	8	1	1	14	12	1	37	26.4
⑤厳しい	4	1	1	4	3	0	13	9.3



140 100.0
 ◎前年と比較した資金繰りの状況だが④やや厳しいと⑤厳しいで35.7%を占め、資金繰りが厳しくなっている企業が3社に1社になっている。

2) 1)で①か②を選択した方に伺います。資金繰りが好転した理由はどのようなことですか。(複数回答可)

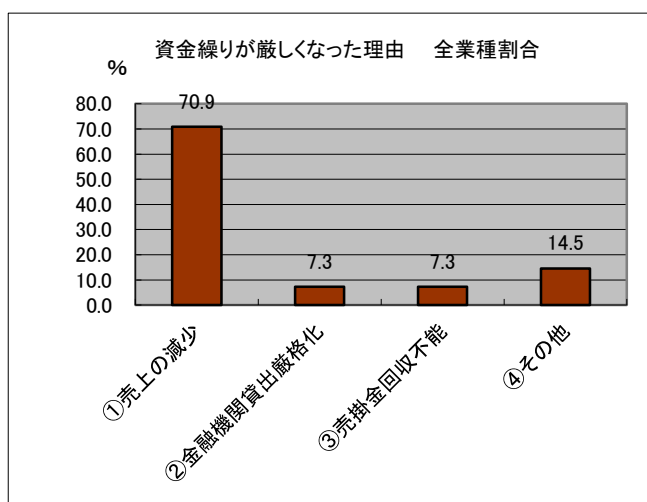
	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①売上の増加	3	3	1	1	4	1	13	62.0
②金融機関貸出緩和	1	1	0	0	0	0	2	9.5
③売掛金回収改善	2	1	0	1	0	0	4	19.0
④その他	1	0	0	1	0	0	2	9.5



21 100.0
 ◎(1)で①好転②やや好転を選んだ事業所が資金繰りが好転した理由を回答したものだが①売上の増加62.0%、③売掛金回収改善19.0%となっている。(その他の内容はP11を参照)

3) 1)で④か⑤を選択した方に伺います。資金繰りが厳しくなった理由はどのようなことですか。(複数回答可)

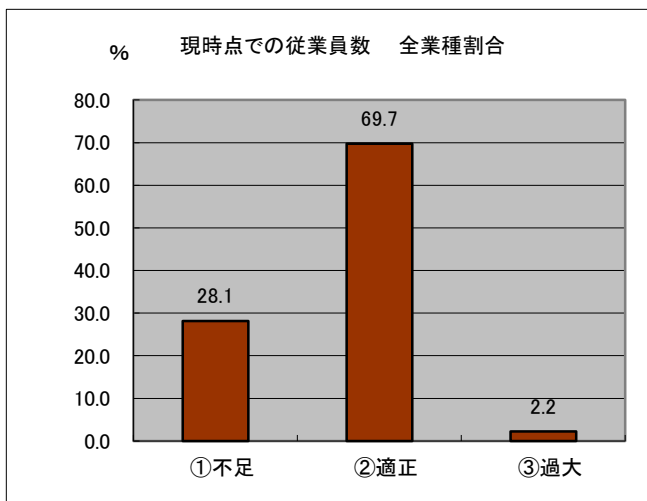
	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①売上の減少	5	2	2	15	13	2	39	70.9
②金融機関貸出厳格化	1	0	0	3	0	0	4	7.3
③売掛金回収不能	1	1	0	0	2	0	4	7.3
④その他	2	0	0	2	4	0	8	14.5



55 100.0
 ◎資金繰りが悪くなった理由だが①売上げの減少70.9%、④その他14.5%、②金融機関貸出厳格化7.3%、③売掛金回収不能7.3%の順になっている。(その他の内容はP11を参照)

4) 現時点での従業員数について伺います。

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①不足	6	4	5	12	10	2	39	28.1
②適正	22	11	3	30	23	8	97	69.7
③過大	1	0	0	2	0	0	3	2.2

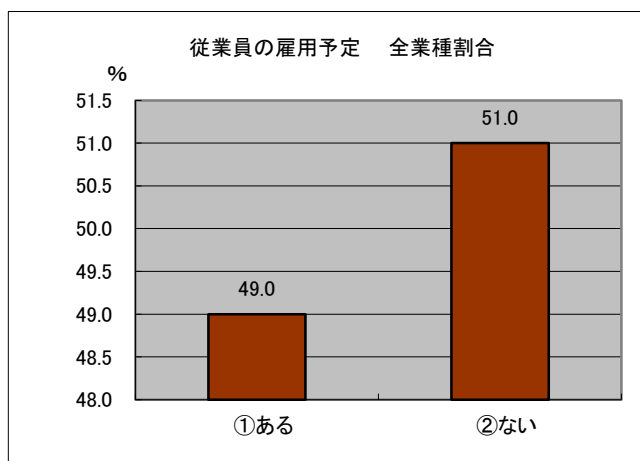


139 100.0
 ◎現時点での従業員数については②適正が69.7%①不足は28.1%③過大が2.2%の順になっている。

5) 4)で①を選択した方に伺います。今後、従業員を雇用する予定はありますか

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①ある	5	1	3	9	6	1	25	49.0
②ない	5	4	3	5	8	1	26	51.0

51 100.0

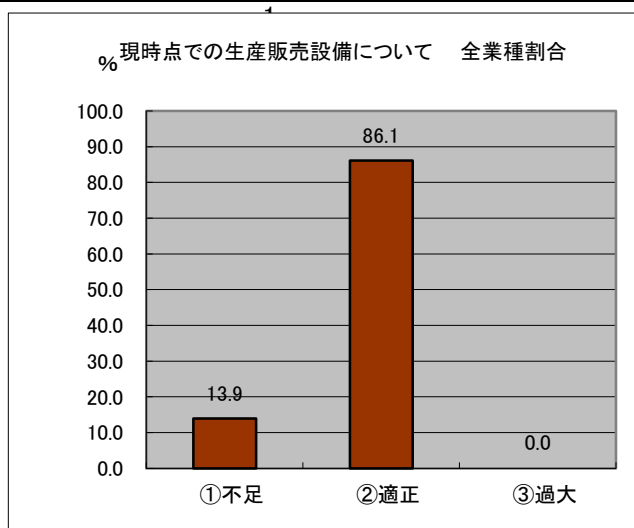


◎(4)で①不足と回答した事業所のうち従業員を雇用する予定①あるが49.0%、②ないが51.0%であった。

6) 現時点での生産販売設備について伺います。

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①不足	3	2	2	4	4	2	17	13.9
②適正	20	12	5	33	28	7	105	86.1
③過大	0	0	0	0	0	0	0	0.0

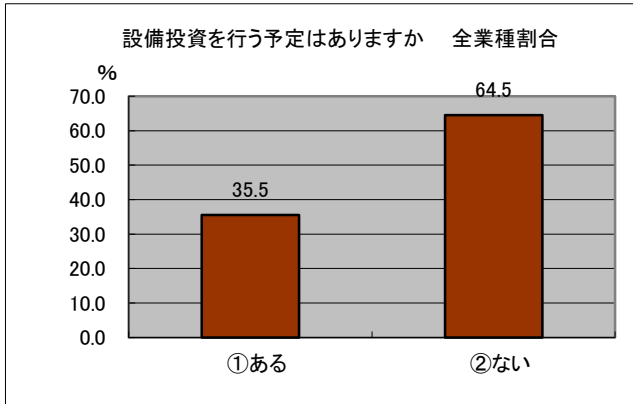
122 100.0



◎現時点での生産設備については②適正86.1%①不足13.9%③過大0.0%の順になっている。

7)6)で①を選択した方に伺います。今後、設備投資を行う予定はありますか？

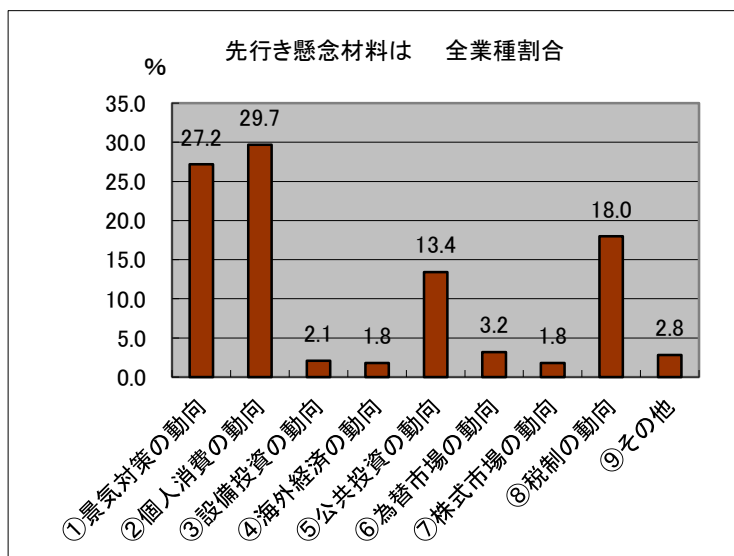
	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①ある	1	2	2	2	3	1	11	35.5
②ない	5	3	0	5	5	2	20	64.5



31 100.0
 ◎(6)で①不足と回答した事業所のうち今後設備投資を行う予定①あるが35.5%、②ないが64.5%であった。

8)先行き(2~3ヶ月先)における懸念材料はどんなことですか。(複数回答可)

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①景気対策の動向	19	13	6	19	15	5	77	27.2
②個人消費の動向	9	12	4	31	23	5	84	29.7
③設備投資の動向	2	0	0	2	0	2	6	2.1
④海外経済の動向	1	2	1	1	0	0	5	1.8
⑤公共投資の動向	14	3	0	12	4	5	38	13.4
⑥為替市場の動向	3	1	0	3	2	0	9	3.2
⑦株式市場の動向	1	0	1	2	0	1	5	1.8
⑧税制の動向	9	4	4	15	17	2	51	18.0
⑨その他	5	0	0	2	0	1	8	2.8



283
 ◎先行き懸念材料についての設問だが②個人消費の動向29.7%、①景気対策の動向27.2%、⑧税制の動向18.0%、⑤公共投資の動向13.4%の順になっている。長引く不況の中での消費税増税は売上減少に悩む中小・零細企業にとっては死活問題といえる。

文章回答

Ⅲ-2 ⑦その他

Ⅲ-3 ⑧その他

観光客の減少
住民の減少
体調不良

Ⅲ-4 ④その他

Ⅳ-2 ④その他

借入金の返済で好転はしないが楽になった。
経費節約
支払分の減少

Ⅳ-3 ④その他

売上金の回収サイトの長期化
利益率が下がった。

Ⅳ-8 ⑨その他

原料事情の変化。
消費税UP
自由化が変わらない限り望みはない。
魚価が命。魚の値が安すぎる。

Ⅳ-9 不況下における事業展開の取り組み

建設業

設備投資の抑制。
出来るだけ元請をやって利益の確保。売掛金の短期化。ヤングパワーで新しい事業展開。
経費削減等自己努力。
公共事業の単価が低すぎるので、民間の単価に影響している。
経費削減。

製造業

今では東北方面まで延ばさないとやっていけない。
増税後の売上減少対策を今から考えている。
踏み倒されないように気をつける。
材料の値上げがあるので値上げをせざるおえない。

運輸業

現状からの脱却、企業イメージの向上を計る。
管内の産物だけに依存では事業継続は厳しい状況、管外への進出を目論む。

卸小売業

新規商品導入による来店頻度の増加、売上対策。
数の増大、『新』のつく仕事を継続して出来るかどうか。
不況下なら、それに対応する事業展開を行う。

新規取り組み商品の強化

より一層きめ細かなサービス、顧客ニーズに応えより丁寧な商売を心掛ける。
消費税の動向によっては留萌の企業に大きな影響を与える。人口減少で商売をやっていけない。
市内でも異業種とのコラボ企画など会議所や公的機関が主体になって考えられないか。
中心部に人の流れを作れるような「街中マルシェ」的なイベントや地方からも人を呼べて、街中を

回遊できる企画を考えて欲しい。

飲食サービス業

先ず、動く事、行動する事、やってみる事、だめだったら又始めから。

設備の老朽化と事業主の高齢化により特になし。

好不況問わず、やるべきことを着実にやる。

地域の現状を考え必要とされるサービスの提供

忍耐

顧客満足を充実させる。低価格実現への企業努力。

同業者や他業種の会社と協力しながら何かを達成できるようアンテナを張って、推し進めている。

消費者ニーズにしっかり答えていけるか。接客・接遇をより上質なものに。

その他

外注元の経営状況に左右され、努力に限界があり。

地元の消費者、商店の信用を確実に獲得する。

事業の多角化の推進。燃費の向上、作業の効率化等の設備投資の推進。

V-1 ①市への要望

建設業

公共投資の拡大

土建屋の下請ではなく、大型物件の独自入札

公共事業の適期発注。

公共投資。

工事発注の予定単価が低すぎる。

製造業

企業がどのような仕事をしているか知っているのか近親感を持ってほしい。

住宅改修促進助成事業増進。

市営温水プールの早期再開。

子供たちにプール授業を。市内で出来ないと地方に行き、消費も地方になる。

観光客に対する対応も大事だが、大型店での消費が目立つだけで商店街には……

市外流出型の買物を市内にて済ませることが出来る市づくり

運輸業

文化、スポーツ、商工等で、全道大会規模の開催誘致、またその計画立案を。

卸小売業

物品購入に対して会社の規模を考えて、個人事業者、法人事業者に格差をつけるようにお願いしたい。

街の中に人が集まるイベントをして欲しい。8月はあまりないので淋しい。

経済動向に敏感になって欲しい。経済の理解から対策が生まれる。

「どこもそうだ」では衰退の一途をたどる。

商店街に人を呼び込む手段を真剣に考えて欲しい。

道の駅を作って欲しい。

うまいよ、るもい市などのイベントや音の街、花の街の企画などあるが、実質商店街に向けてのイベント、取り組みがあまりないと思います。

飲食サービス業

留萌の事を発信していると思うので、これからも続けてください。

市立病院存続の為にあれもやめ、これもやめて市立病院が黒字になった今、せめて子供達に関わるプール、スキー場を再開してくれる事をお願いします。

本祭りを神社から街の方へ出店を開いて欲しい。飲食店への流れが非常に悪い。

健全な財政(公務員給与)

毎月人口の減少が目立ちます。人口流出を何とか防ぐことが出来ないか。

専門(医療、福祉、介護)資格が取得できる施設の設立。

企業誘致を進めて欲しい。

市議会及び市長と高校生・若者と意見交換会等をしたらどうですか。

生活保護に対する葬儀の価格の見直しを検討して欲しい。

活性化させるため、協働が出来る環境整備を期待。

道の駅

北海道内外の観光客誘致を積極的に行って欲しい。冬のイベントがないので検討して欲しい。

その他

催し物、備品の入札に関しては多少の価格の違いがあっても地元業者を優先すべし。

道の駅建設と併設温泉建設による沿岸地域の活性化と雇用対策。

V-1 ②会議所への要望

建設業

今後の景気の見通しなど意見を聞かせて欲しい。

道単価は安すぎるので高目に見て欲しい。

東北の復興事業に対する情報収集、ルート作り。

道や国の発注等の市内での消費、発注のお願い等留萌市内で金が回るように。

製造業

聞き取り調査をして会員は何を望んでいるのか、もう一歩つっこんでほしい。

東北状況の調査、ビジネスマッチング。

商店街の活性化、人口減の歯止め。

運輸業

文化、スポーツ、商工等で、全道大会規模の開催誘致と各種施設の整備、中長期の計画を。

卸小売業

地元購入するように国の機関、道の機関に陳情していただきたい。

留萌近郊から人を集めるような夏の企画を立てて欲しい。

商店街振興組合と定期的に情報交換の場を持って欲しい。

これ以上郊外型店舗を増やさないで欲しい。

先日の経営セミナーはなかなか良い話を聞かせていただきました。売出し以外にもやる気のあるお店同志と一緒に活動できる企画など考えていただければ……。

飲食サービス業

留萌の事を発信していると思うので、これからも続けてください。

人口流出を抑える方法を真剣に考える時期ではないか。

新卒者の雇用拡大に向けての取り組み。

企業誘致を進めて欲しい。

少額でも貸付してください。

サービス業関係を対象に接客・接遇のセミナーを行うと良いのでは。

全国から注目されるようなイベントを検討して欲しい。街コンやはしご酒の検討も。